

CMSC山形 小川日出生

十勝24時間耐久レース参戦記

CMSC山形のメンバーのボランティアとドライバーの自費参加という涙ぐましい努力で計画は実行されました。夏の観光シーズンということでフェリーの予約がなかなかとれず心配しました。エアコンなしの積載車とデリカバンは未知の可能性を求めて猛暑の山形を出発していったのです。予算のない我がチームは宿泊費節約のため直前の現地入りで、早々到着して専有走行をしているワークスチームのうらめしいこと。しかしCMSCの横断幕をピット入口にかけたとたん、ゴール目標に頑張るぞと誰からともなく気合いが入りました。

北海道とはいえ日中は本土と同じくらいの暑さでしたが、夜間涼しいのがせめてもの救いでした。夕方4時いよいよスタートです。明日の今頃は何をしているんだろうか、朝を無事迎えられるのだろうか、皆が不安を抱いてのスタートでした。ランサーは快調に1分36秒のペースで周回を重ねていきます。辺りは薄暗くなってきました。ピット前を走るランサーのフロントホイールが真っ赤になっています。ディスクが異様に熱をもっているようです。急に不安がよぎります。1時間37分経過、予定の1回目のピットインです。ローターの異常発熱により左ドライブシャフトのブーツが溶けています。我々の想像外の事でした。120周目、2回目のピットインです。今度は右のブーツが駄目です。この2回のピットストップで総合14位から38位まで順位を落としてしまい、大変ショックでした。しかし、その後はペースを随分落としましたがスムーズに走り続けました。ドライバーにとってはアクセルを踏みたくても踏めないのですから随分走りにくかったと思いますが、これも完走の為とおさえての走行です。

CMSC埼玉 長井一敏

'94香港～北京メカニック選考会

8月25～27日の3日間、静岡県御殿場の特設会場にて'94香港～北京ラリードライバーチームの2次選考会が行われました。私は昨年も応募しましたが見事に1次選考で落とされてしまいました。今年が2度目の挑戦となりましたが、無事に2次選考会に参加することが出来ました。全国からの応募者から選ばれたのはわずかに19名。さらに5名にシボという非常に厳しい状況となりました。

当日会場に着くと、すでに他の参加者は到着していました。後で考えるとこれも評価の中に入っていたのかな？着くと間もなく全員集合、2泊3日の野宿用のテントを張り、休む間もなく選考会は始まり、3班に分かれそれぞれのメニューを消化していきました。初日は個人面接、車両説明、オリエンテーリングでした。オリエンテーリングは速い者の方が上

結果は努力についてくる

日付がちょうど変わる頃また突然トラブルが発生しました。走行中ガソリンがなくなってしまった為のピットインでした。燃料ラインの故障のようでした。メカニックもドライバーも一番眠い時間なのに頑張って対処してくれました。まわりは何のトラブルもなく快調に周回を重ねているようです。順位は39位まで落ちてしまいました。しかしその後は全く順調でした。スタートから11時間経過時点で34位(クラス8位)、13時間経過で33位、18時間経過で31位(クラス6位)。少しずつですが順位を上げて行きます。しかしペースを上げることが出来ません。ペースダウンのサインボードがドライバーには不意だったと思います。しかしあの時点ではそうすることしか考えられなかったと思います。完走するための手段でした。そして20時間経過した頃からまわりのピットが忙しくなってきました。何かトラブルが多くなってきたようです。我々チームのランサーはペースダウンこそ続いています。22時間が経ちました。29位クラス5位まで上がってきました。残り2時間が長く長く感じられました。ピットロードに人垣が出来てきました。まもなくゴールです。あれほど待ち望んだチェッカーが見えた時、忘れかけていた感動がこみ上げてきました。これまで多くの方々から力添えやアドバイスをいただきながらやってきた事を無駄にしてはならないと、必死で頑張ってきて本当に良かったと思います。「なせばなる」皆さんもチャレンジ精神を持って前進して下さい。結果は努力に必ずついてくるものと確信いたしました。CMSC帯広の方々には温かい声援をかけていただき有難うございました。また山形三菱をはじめスポンサーしていただいた企業の方々には失礼ではありますがこの誌面をお借りして厚くお礼申し上げます。本当に有難うございました。

今回は11月3日スポーツランドSUGOで行われる最終戦に参戦を予定しています。表彰台目指して



頑張りますので、また応援宜しくお願いします。

貴重な体験の3日間

位になると言われ気合いを入れて行きましたが、富士の火山灰の台地は走るのも大変。オリエンテーリングをやるのは初めての私にとって思った以上につらいものとなってしまいました。1日目を終わって自分自身の体力の無さを痛感させられてしまう結果となりました。

2日目は早朝より体力審査のランニング、腕立て伏せ。朝食後メカニカル審査、昼食後ドライビング審査、車両メンテナンスと本当に休む間もなく次々にメニューを消化。この頃になると順位を考えるよりも、皆に遅れない事を考えるようになりました。つらい1日でしたが最後に予定にはありませんでしたがお風呂に入ることができ、皆一時、選考会の緊張から解放されました。でも選考会はそんなに甘くはなく、2日目のメニューが終わり皆が寝静まったその時、いきなり集合の号令。作業の出来るようにつなぎ着用との事でしたが、中にはトレーナー姿の人も。作業服、軍手、懐中電灯の確認をされ、次の指示はサービスカーがスタックしているのでけん引

用の車両を持って現場に行くというものでしたが、けん引用車両がいきなりエンジン始動せず、車両修理とスタック現場にとそれぞれ分かれ、私はスタック現場へと向かいました。現場に到着しスタック車両を確認、皆で力を合わせて脱出に成功。この時点でけん引用車両はまだ現場に到着していませんでした。帰るとけん引用車両はエンジン不始動の他にタイヤもパンクしており、手動ポンプでタイヤに空気を入れているところでした。

最後の日、朝起きると体のあちこちがきしんでいました。最後の総合審査も無事に終了、後は結果待ち。結果は残念ながら不合格でした。しかしこの3日間非常に貴重な体験が出来ました。合格された5名の方々を応援し、我々の分まで頑張っていたが、無事にラリーが成功することを願わずにはられません。そしてこの選考会の為に準備されたスタッフの方々に、この場をお借りして御礼申し上げます。

鎌田豊選手(CMSC道北)、早くも全日本ラリーBクラスシリーズチャンピオンを決める!

'94全日本ラリー選手権第6戦「ひえつき'94夏」が宮崎県の椎葉村で7月23日(土)~24日(日)に開催されました。鎌田選手はミラージュMIVECでBクラスに出場。26台が出走してこのクラスは今季のチャンピオンを占ううえでの重要な戦い。すでに今季2勝をしているベテランの鎌田選手は優勝の最有力候補。シリーズ2位につけていた長谷川選手が不参加とあって優勝ならば無条件で、それ以外でもライバルの成績次第ではシリーズチャンピオンが決定します。

第1ステージ、第2ステージと無難にクリア。2秒差を保ったまま第3ステージへ。ところが22CPで思わぬ減点。その結果、田口選手に勝ちを譲り2位に甘んじることになりましたがBクラスのシリーズチャンピオンが決定しました。

鎌田選手は昨年度シリーズ2位の実力派。経験と実績を積み重ねてのチャンピオン獲得です。8月からCMSC19番目の支部となった「CMSC道北」の会長に就任しました。支部にとっても幸先の良いニュースとなりました。



CMSC道北誕生

海道らしい?人物です。

CMSC各支部の皆様、はじめまして。この度、沢山の方々の御支援のもと19番目の支部として発足することが出来ました、CMSC道北です。道北という地名は私たちの地元において、北海道の中心旭川市以北の広域な地域を指し、文字通り日本の最北端のクラブです。代表者は鎌田豊というこれまた北

クラブ員は総勢23名でラリー、ダートトライアル、ジムカーナとなんでもコイの、人数の割に戦力のそろったクラブであると自負致しております。また'94年度より地元ディーラーである道北三菱自動車販売株さんの強力なバックアップによりミラージュを競技車として選ぶ方が増え続けており、これに伴いクラブ員、三菱ファンの増大がより一層

期待できる状況です。

今後は競技会でより良い成績を目指すことはもちろん、この広大な地域性を活かした競技会の主催等、伝統あるCMSCの名に恥じぬよう、積極的な活動を展開して行きたいと考えております。各支部の皆様、何卒ご指導の程よろしくお願い致します。

(CMSC道北 栗澤 傑)

CMSC帯広 8月14日
真夏の大会練習会

シーズン後半へ向け熱心な練習

より降りだした雨は当日になっても降り止まず、あいにくのヘビーウェットコンディションとなっていました。しかし、墓参りもそこそこに集まったチーム員は雨にも負けず泥にも負けず、シーズン後半に向けて熱心に練習走行を繰り返しました。練習会の後は恒例のジンギスカンを食べながらの反省会(けなし合い?)で盛り上がり、今後の健闘を誓い合いました。

今年は競技会の開催は行わず積極的に他の競技会へ参加することにしていますので、少しでも良い成



績がおさめられるようチーム員一同頑張っていくます。秋には締めくくりに練習会も予定しており、1年の総決算でまた大いに盛り上がりたと思います。(CMSC帯広 中村 洋次)

帯広依然トップ。上位4チームは混戦。

'94チャレンジカップ

トップの帯広を強豪山形が追い上げています。また群馬、岐阜もポイントを抑えて激戦模様。後半戦

の争いが興味津々です。個人部門はレース部門で福田選手が同じ山形 小川選手の連覇阻止の勢いです。

●クラブ別獲得ポイント

	1-5月	6-8月	9-11月	12月	合計
帯広	800	454.5			1254.5
山形	403	733			1136
群馬	621	395			1016
岐阜	465	502			967
香川	304	476			780
大阪	347	164			511
広島	262	245			507
島根	226	172			398
浜松	0	365			365
札幌	158	200			358
福島	342				342
岩手	94	222			316
青森	282				282
千葉	87	95			182
仙台	98	54			152
愛知	122	6			128
栃木	34	31			65
埼玉	13				13
道北	-				0

●ラリー・ドライバー部門

小林 康弘	帯広	183
勅使川原光	千葉	104
奴田原文雄	札幌	78
渡辺俊昭	山形	76
鷺見 宏康	岐阜	62
丹羽浩道	千葉	43
岩根つるる	広島	40
福本光志	帯広	37
西沢 重人	札幌	36
松井孝夫	愛知	34

●ラリー・ナビゲーター部門

伊吹 浩明	帯広	253.5
坂田 真一	愛知	34
加藤 徹	岩手	32
遠藤 昇	仙台	27
生井史枝	帯広	20
神高 浩	香川	20
伊藤 順子	岐阜	19
中村 洋次	帯広	18
芦中 広勝	帯広	17
青木 功	栃木	16

●ダートトライアル部門

荒井 信介	群馬	349
大井こずゑ	群馬	329
高竹 優之	香川	326
柳田 正文	岐阜	316
小出久美子	大阪	284
針田 信夫	岐阜	274
赤羽政幸	山形	270
鈴木 功敏	山形	244
岩根つるる	広島	228
青沼 達也	帯広	221

●ジムカーナ部門

上泉 晃祥	福島	130
須田 行雄	福島	106
青沼 達也	帯広	82
杉坂 啓一	島根	71
宮本 和彦	福島	66
植田 智則	島根	57
小館 久	青森	46
伊藤 良伸	島根	46
古藤 浩美	島根	46
工藤 裕史	青森	42
祖田 和安	島根	42

●レース部門

福田 光一	山形	93
小川日出生	山形	41
高橋 滋	仙台	17
小出 辰彦	愛知	15
川口 法行	栃木	15

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選不通過も含む

A = 全日本選手権、地方選手権
但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル
ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ
レースにはフォーミュラ・ミラージュ、ミラージュカップを含む
B = それ以外の競技会